

令和3年度 広島大学光り輝き入試 総合型選抜

小論文問題

工学部 第四類 (建設・環境系)

実施期日 : 令和2年11月21日(土)

試験時間 : 9時30分 ~ 11時30分

注意事項

1. 問題冊子は表紙を含めて2枚, 解答用紙は6枚, 下書き用紙は6枚です。
2. 解答用紙及び下書き用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
3. 問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。
4. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。

問題 1

新型コロナウイルスが世界中に拡散し、多くの国・地域ではロックダウンが実施され、我が国でも緊急事態宣言が発令されるなど、世界中は大混乱に陥りました。現在は、コロナショック直後の混乱期が徐々に収束し、感染拡大を防止するための新たな社会へ移行しつつあります。特に、人々の接触無しでコミュニケーションを可能とする技術が急速に普及・発展しつつあります。今後、新しい社会を創造するためにも、建設・環境分野の役割は大きいと考えられます。そこで、今後の社会がどのように変わるのか、また、その新しい社会において建設・環境分野ではどのようなことが求められるのかについて、あなたの具体的なイメージを 800～1000 字で説明してください。

問題 2

近年、国内の様々な業界で人手不足が問題となっています。

著作権保護の観点から、公開していません。

このように建設業

における人手不足は、深刻な状況に直面しています。

- (1) 建設業において人手不足が生じている理由にはどのようなことがあると考えられますか。理由を 2 つ以上取り上げながらあなたの考えを 200～300 字で記述してください。
- (2) 建設業における人手不足を解消するため、建設・環境系の技術者としてあなたはどのような対策を講じるべきと考えますか。あなたの考えを 400～500 字で記述してください。

問題 3

地球温暖化により、猛暑や豪雨に伴う洪水が頻発しています。地球温暖化の対策は、温暖化を抑制しようとする「緩和策」と、温暖化による悪影響に備えようとする「適応策」に大別できます。建設・環境分野の技術者として貢献できる具体的な緩和策と適応策について、あなたの考えをそれぞれ 300～400 字で記述してください。